

■ラオス：政府、低使用量家庭向け電気料金を50%引き下げ

2019年6月28日付の報道によると、ラオス政府は、外国からの投資促進、製造業の競争力向上、および低所得者の生活水準改善のため電気料金を引き下げる。カマニー・エネルギー鉱業大臣が記者会見で明らかにしたもので、引下げ率は家庭用が50%、産業用が7~16%。新料金がいつから適用されるかは明らかにされていないが、月間使用量50kWh未満の家庭には1kWh当たり4.55円の特別料金が適用される。一方、使用量50kWh以上の家庭には同9.1円を適用し、さらに2025年まで年1%ずつ引き上げる。他の閣僚や県知事の多くは、低所得者を優遇するべく月間使用量150kWhまで特別料金を適用するよう提案している。産業用料金は、中小企業向けを1kWh当たり10.13円から同9.89円に引き下げ、月間使用量10万kWh以上の大口需要家は現在の同9.28円から同9.89円に、100万kWh以上は同7.8円に引き下げる。